

# Personalize

## Personalize ユーザ設定

個人プロフィールの作成

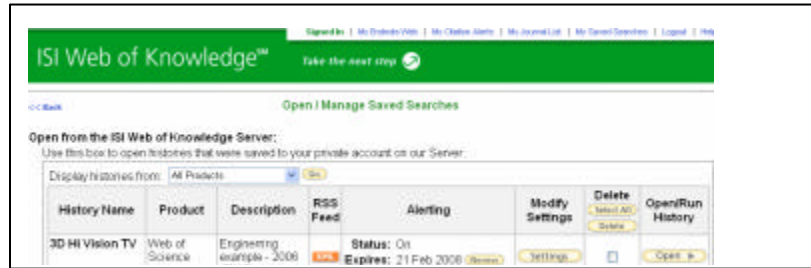
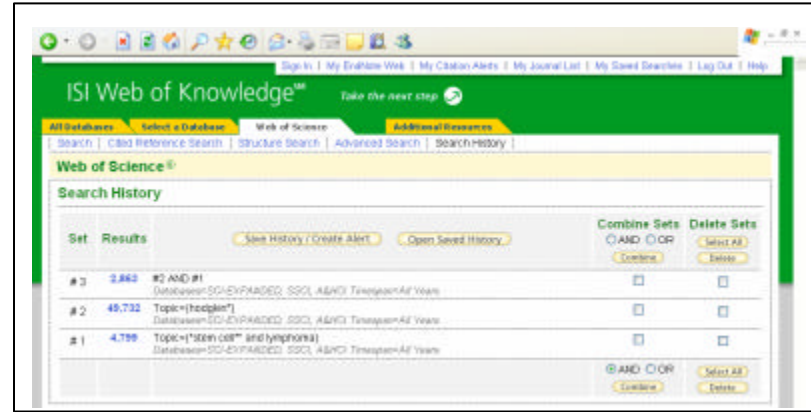
Web of Science の全てのユーザは、ISI Web of Knowledge の個人プロフィールを作成することができます。このプロフィールを作成することで便利なオプションを活用ことができ、プロフィールには次のことを保存することができます。

- 検索式の保存と検索アラートの設定 (設定数に限定なし)
- 引用文献アラート(設定数に限定なし)
- 文献数が1万件までの EndNote Web ライブラリ

検索の保存と検索アラートの作成

Search History (検索履歴) をクリックすると、過去された検索式の一覧を見ることができ、それらを組み合わせて新たな検索式セットを作成することができます。20 件までの検索式セットを Search History (検索履歴) または Alert (アラート) として保存できます。アラートは 24 週間有効ですが、いつでも更新することができます。My Saved Searches (保存した検索式) と My Citation Alert (引用アラート) をクリックするとアラートを管理したり更新したりすることができます。アラートの有効期限が切れても、検索式は個人プロフィールの中にそのまま保存されています。また、検索式は RSS フィードとして保存することもできます。その方法は、Save History (検索履歴の保存) をクリックした後に XML アイコンをクリックするだけです。

- Renew をクリックしてアラートの有効期限を延長することができます。
- Settings をクリックするとアラートの有効/無効を切り替えることができます。
- Open をクリックすると保存した検索式を実行することができます。
- XML をクリックすると RSS フィードを設定することができます。



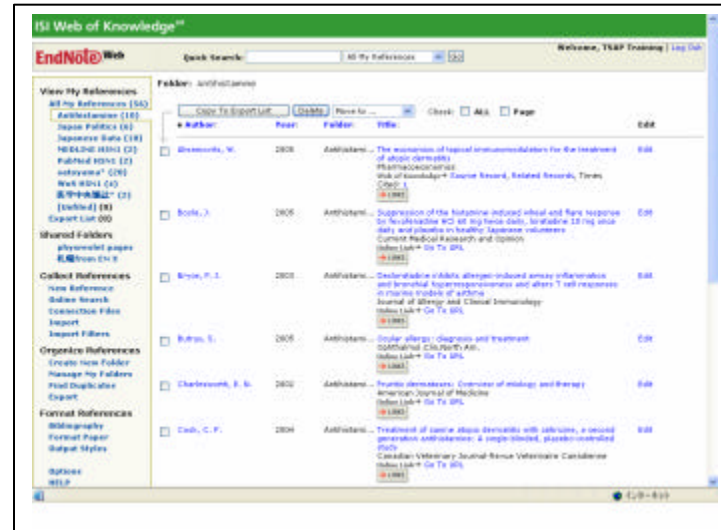
# Manage

## Manage 管理 EndNote Web

1 万件までのレコードを自分用の EndNote Web ライブラリに保存することができます。保存できるデータは、Web of Science 以外のデータベースや日本語の文献も保存できます。ISI Web of Knowledge からインポートされた文献は EndNote Web アイコンでマークされますので、リンクでフルレコードに戻って最新の引用情報を見ることができます。

また EndNote Web に蓄積した文献情報を使って、執筆中の文章内に、指定のジャーナルのスタイルで引用文献を作成することができます。

一旦 EndNote Web ライブラリを作成すれば、Web of Knowledge 個人プロフィールから、又は www.myendnoteweb.com にアクセスした後 ISI Web of Knowledge のユーザ ID とパスワードを使って、いつでもライブラリにアクセスすることができます。



## サポート情報

各ページにある Help ボタンをクリックして機能についての詳細な説明にアクセスできます。また詳しい検索のヒントや検索例もご覧になれます。

Web of Science の使用方法について (日本語) <http://www.thomsonscientific.jp/products/wos/support.shtml>

各国語の音声ガイド <http://scientific.thomson.com/support/recorded-training/wos/>

トムソンコーポレーション株式会社 トムソンサイエンティフィック ヘルプデスク

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 5F

フリーコール : 0800-888-8855 (9:30-18:00) [ts.support.jp@thomson.com](mailto:ts.support.jp@thomson.com)

## 参考

# Web of Science® Quick Reference Card

Web of Science を使うと、45 以上の言語で書かれた自然科学、社会科学そして人文学の広範な学問分野の国際誌 9200 誌以上のジャーナルを検索して、ご関心をお持ちの分野の最も関係のある論文を探し出せます。引用文献を利用すれば、関連レコードを互いにリンクし、各分野の第一線の研究者が執筆した論文間の関係も辿ることができます。

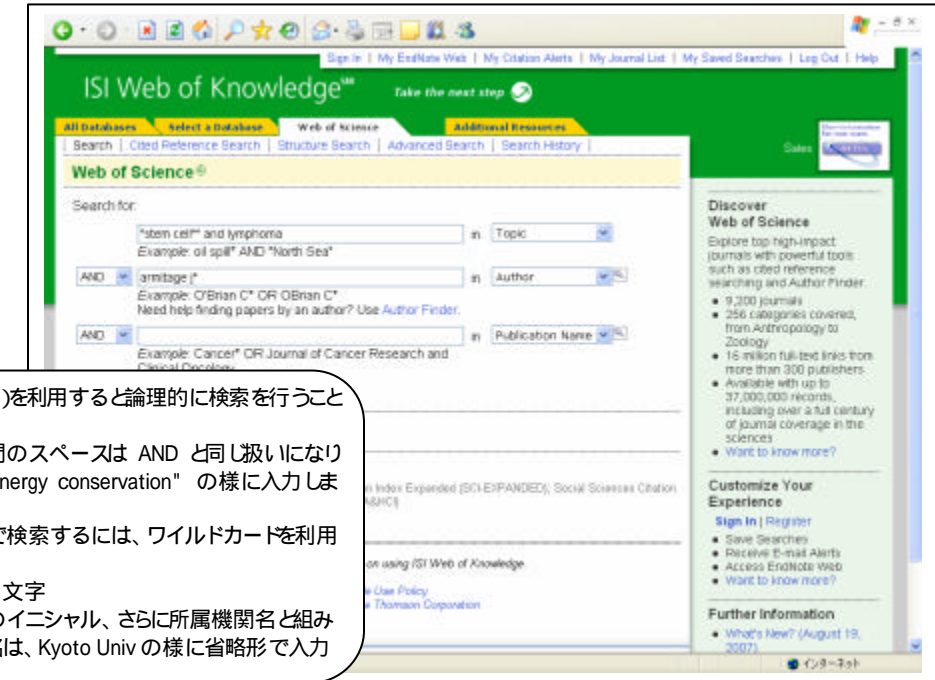
## 検索語の入力方法

トピック (Topic)、著者名 (Author)、グループ名 (Group Author)、ジャーナル名 (Source Title)、出版年 (Publication Year)、機関名 (Address) で検索できます。各検索ボックスの右横にあるドロップダウンメニューから検索したい項目を選んで下さい。出版された原語やドキュメントの種類によって検索範囲を限定することもできます。

ドロップダウンメニューから AND、OR、NOT を選び、検索フィールド間の関係付けを行って下さい。

更に詳細な検索を行う場合は、検索フィールドを追加できます。

検索する期間やデータの限定を変更できます。



**検索演算子** AND、OR、NOT 及び SAME (同文内検索) を利用すると論理的に検索を行うことができます。

**フレーズ検索** ダブルクォーテーションで囲む。語と語の間のスペースは AND と同じ扱いになります。必ず隣り合っているフレーズを検索するには "energy conservation" の様に入力します。

**ワイルドカード** 複数形や語尾の異なる語なども一括で検索するには、ワイルドカードを利用します。

\* = 0 又は複数の文字、? = 1 文字、\$ = 0 又は 1 文字

【Tp】著者名で検索する際は、Author に、苗字と名前のイニシャル、さらに所属機関名と組み合わせることをお勧めします。なお所属機関名は、Kyoto Univ の様に省略形で入力

# Refine and Analyze

## Refine and Analyze 検索結果の絞り込みと分析

Refine (絞り込み) を使うと、10 万件までの検索結果の中から、カテゴリ (Subject Categories)、ドキュメントタイプ (Document Types)、著者 (Authors)、出版年 (Publication Years)、機関名 (Institutions)、言語 (Languages) ごとに上位 100 項目を表示することができます。

## 検索結果の並び替え

下記の項目ごとに検索結果を並び替えることができます。

- 最新順 (Latest Date) (初期設定)
- 被引用回数 (Times Cited)
- 検索語の頻度度 (Relevance)
- 出版年 (Publication Year)
- ジャーナル名 (Source Title)
- 第一著者 (First Author)

## 検索結果の分析

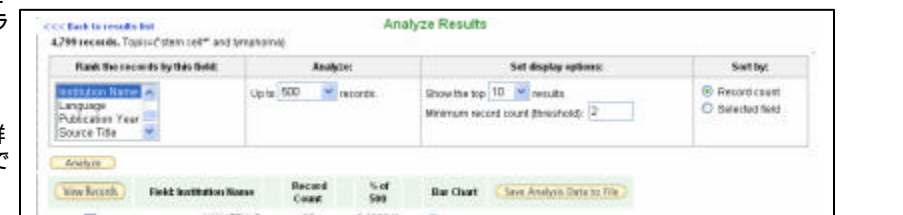
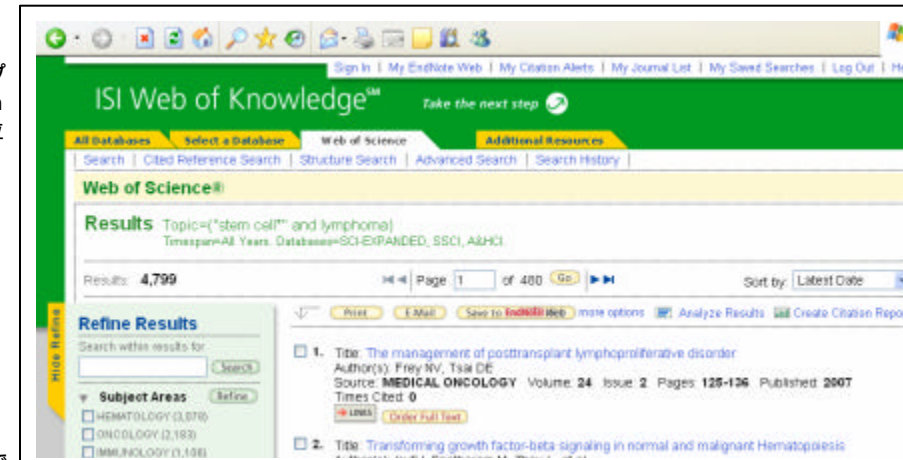
Refine (絞り込み) のように、Analyze (分析) でも 10 万件までの検索結果を分析できます。Analyze では検索結果を Microsoft Excel に出力できますので、Excel 上で自由にグラフを作成することができます。

## 引用文献レポートの作成

Create Citation Report をクリックすると、検索で得た論文群を図式で概観を表した引用文献レポートを作成することができます。

## レコードの出力、及び EndNote Web での保存

選択したレコードを簡単に印刷、メール送信、または EndNote Web で保存することができます。more options をクリックしてテキストフォーマットで保存するか、ResearchSoft Reference Software (EndNote、Reference Manager 及び ProCite) にレコードをエクスポートします。



# Full Record

## フルレコードの表示

**Title 論文タイトル**  
論文のタイトルは完全な形で索引化されており、トピック検索 (Topic) で検索できます。

**Author 著者名**  
全ての著者が索引化されています。苗字と5文字までの名前のイニシャルを使って検索します。著者名をクリックすると同じ著者の論文を検索します。

**Source ジャーナル名**  
ジャーナル名でも検索できます。完全なジャーナル名を入力するか、General Search ページにある Search Aid を使ってジャーナルを選ぶこともできます。

**Abstract 抄録**  
著者による抄録も全て収録されており、トピック検索 (Topic) で検索できます。

**Author Keywords 著者によるキーワード**  
著者によるキーワードも全て索引化されており、トピック検索 (Topic) で検索できます。

**Keyword Plus**  
Keyword PlusRとは、Web of Science 独自の機能で、論文のタイトルと引用文献に頻出する語句から成っています。Keyword Plus はトピック検索 (Topic) で検索できます。

**Addresses 機関名**  
著者の所属機関名も全て索引化されており検索可能です。リプリント請求先の著者名が特定され、メールアドレスが分かる場合はそれも記載されています。



References の右横の数字 (引用文献数) をクリックするとこの論文の引用文献が表示されます。  
Cited By の右横の数字 (被引用回数) をクリックすると、この論文を引用した Web of Science 内の論文が表示されます。この論文を引用した直近 3 件の論文の書誌情報はフルレコード右側に自動的に表示されます。  
View Related Records をクリックすると、この論文が引用した文献と同じものを用いた別の論文を表示します。  
Create Citation Alert をクリックすると、この論文が Web of Science の新しいレコードに引用された際に通知を受けることができます。アラートは年間有効ですが、いつでも更新することができます。

# Cited References

## Cited References 引用文献

全ての引用文献は Cited Reference Search インターフェースから検索することができます。青文字で表示された引用文献は Web of Science の別のレコードにリンクしています。但し、リンクは購読契約の範囲に限定されています。黒文字のリンクのないものは次のいずれかに該当します。

- \* その引用文献が単行本など、Web of Science に収録されていない場合。
- \* お客様の購読契約ではカバーされていない文献である場合。
- \* 情報源となった出版物が間違っていて引用されていない場合。

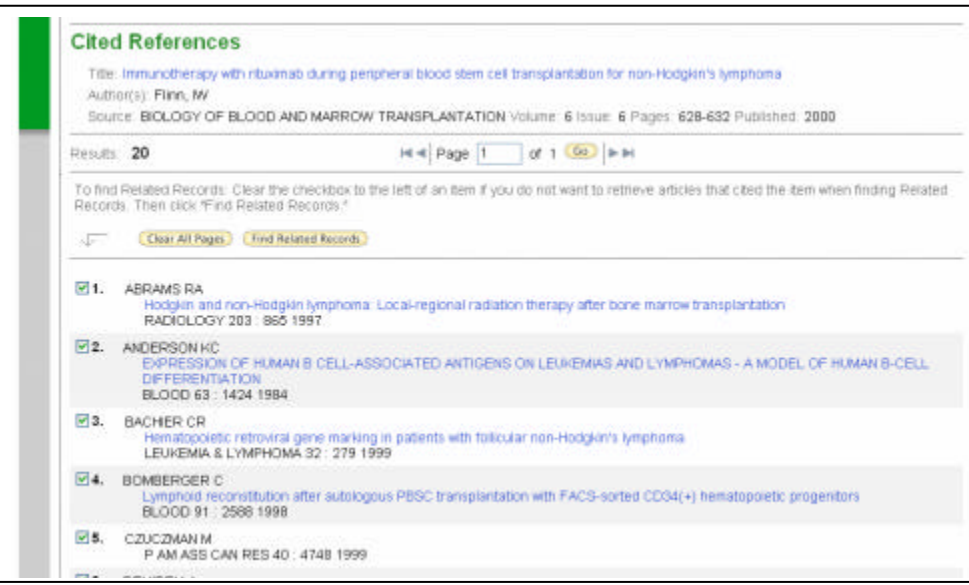
**Cited Author** 引用された著者名  
引用第一著者が入力されていて、文献名とともに表示されます。

**Cited Work** 引用された著作物名  
全ての引用された著作物が入力されています。書名、ジャーナル名などが省略形で入力されています。

**Cited Year** 引用文献の出版年  
引用文献の出版年も入力されています。

**Cited Volume** 引用された巻数  
引用された巻数は 4 文字まで索引化されています。

**Cited Page** 引用されたページ  
引用されたページ数は 5 桁まで入力されています。



# Cited References Search

## Cited Reference Search 引用文献検索

ジャーナル、本、会議録、特許などが引用された数や、どの論文に引用されたかを検索可能。例えば、被引用回数を正確に調べる。特定の論文のレビューを探す。

### Step 1

項目を入力して、SEARCH をクリック

CITED AUTHORには、苗字 + 名前のイニシャル。  
CITED WORKには、ジャーナル名などを入力。語尾に\*  
CITED YEAR(S) には、出版年。複数年や空欄も可能。  
最後にSEARCHをクリック。

【Tip】引用文献検索では、どのような形式で文献が入力されているかを知る必要があります。2ページの各フルレコードに入力されているCited Referenceを見ると、ジャーナル名、本、会議名がどのように省略されているかが分かります。

また、書籍のように何度か出版され、引用された時により出版年が異なることもあります。右の画面では、より広く検索するために、出版年はあえて空欄にして検索しています。

### Step 2

Step 1 の条件にあった引用文献が検索されます

これらは、Web of Science のご契約の範囲のレコードに含まれていた引用文献です。文献は様々な形で引用されます。例えば、ページ、出版年などが異なって引用されることがあります。

右の画面では、ANNAND K, SCIENCE, 2003年, Vol. 300, 1763 pageが227回引用されていることが表示されています。View Recordをクリックするとフルレコードが表示され、共著者名、抄録、著者の住所などが確認できます。

上から2番目のパターンでは、出版年以外は、ボリュームもページ名も空欄になっている引用文献が3件あったことを示しています。

上から3番目のパターンでは、Vol. が5626となっている引用文献が1件あったことを示しています。

下から1番目から4番目は、いずれも 引用された当時はまだ、In Printの状態では出版されておらず、SCIENCEの5月13日号に掲載される」という情報だけで引用されていることを示しています。

必要であれば、引用された文献 (Citing Article) を言語やドキュメントタイプを指定して限定することができます。例えば、ANNAND K, SCIENCE, 2003年, Vol. 300, 1763 page を引用している総論 (Review) だけに限定するには、Restrict search by の部分で Reviewを選択します。

